

マーシャルアーツ

地域から世界への広がり



考えてみよう！

- 今までマーシャルアーツをしたことや見たことがありますか。
- 左のイラストにのっているスポーツについて、知っていることはありますか。
- 左のイラストにのっているスポーツについて、やってみたいものはありますか。どうしてですか。
- ある国や^{ちいき}地域で生まれたスポーツが、国外で人気が出るのはどうしてだと思いますか。

めあて

1. 世界の異なるマーシャルアーツを比較し、それぞれの文化的背景や特徴を理解しながら、それぞれの文化の考え方や価値観を考える。

Compare different martial arts from around the world, understanding their cultural backgrounds and characteristics while considering the ways of thinking and values of each culture.

2. いろいろなマーシャルアーツの中から一つを選び、その特徴や、他のものと似ている点・ちがう点を、話したり書いたりして説明する。

Choose one martial art and explain its characteristics, similarities, and differences compared to others, by speaking and writing.

3. 読みものの要旨や発表の原稿を、パラグラフの構成を考えて書く。

Write a summary or a presentation script with clear paragraph structure.

4. マーシャルアーツに関係することばの読み方・意味・使い方を学ぶ。

Learn how to read, understand, and use words related to martial arts.

考えて、話し合おう

マーシャルアーツについて、KWL ツールを使って、知識や考えを整理してみましょう。

ステップ1: マーシャルアーツについて知っていることや、もっと知りたいことを「K」と「W」に書きましょう。

ステップ2: 動画を見てみましょう。動画を見て思い出したことやもっと知りたくなったことがあれば「K」と「W」に書きましょう。

ステップ3: ペアやグループでどんなことを書いたか話し合しましょう。

ステップ4: クラス全体で、書いたことを日本語で発表しましょう。

K 知っていること	W もっと知りたいこと	L 学んだこと
		*「L」はすべての勉強が終わってから書きます。

「読みもの」

「世界のマーシャルアーツ」

<ふりがな なし>

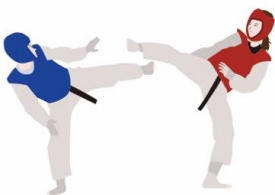
ステップ1: 先生が本文を読みます。マーシャルアーツについて、どんなことが書かれているかを考えながら、文字を目で追いながら聞きましょう。
その時に読めない漢字や意味が分からないことはあれば、線を引きましょう。

世界には、いろいろなマーシャルアーツがあり、それぞれが固有の歴史や文化を表しています。日本の空手、ブラジルのカポエイラ、韓国のテコンドーは、異なる国で**発展**した有名な武道・武術で、世界中で多くの人に愛されています。これらのマーシャルアーツは、生まれた場所や技が違って、似ているところもあって興味深いです。それぞれの**特徴**を見ながら、共通点を探ってみましょう。



空手は、沖縄で生まれた日本の武道です。「空手に先手なし」という言葉があるように、まず自分を守ることを大切にしています。手で突いたり、足で蹴ったりする技が中心で、正確に技を出すことが重要です。「型」という決まった動きを何度も練習して、基本の技を磨きます。

カポエイラは、ブラジルで発展した独特の武術です。音楽とダンスの要素を取り入れた格闘技で、アクロバティックな動きや回転技が特徴です。「ジンガ」という体を揺らす基本の動きから、様々な技につなげていきます。参加者が輪になって音楽を演奏し、歌いながら、二人が円形の競技場の真ん中で技を見せ合います。



テコンドー、は韓国の国技として知られる武道です。「^{タイコンドウ}跆拳道」と漢字で書き、足・拳・道という意味があります。その名の通り、キックを中心とした技が特徴的で、特に高く、速い回転蹴りは世界的に有名です。その派手で華麗な蹴り技で観客を魅了し、競技としての人気も高く、オリンピック競技にも採用されています。

これら三つのマーシャルアーツは、技や競技の仕方、歴史などが異なり、一見全然別のスポーツに見えますが、共通点もいくつかあります。その一つが、単なる技術の**習得**だけでなく、精神的な**成長**も目指している点です。「心技体」の調和や、自分自身をコントロールする力、集中力の**向上**といった精神面でのトレーニングが不可欠とされています。また、それぞれの**伝統**における「**敬意**」を**表現**しようとしており、指導者や相手に対する敬意を表す動作がそれぞれに組み込まれています。さらに、これらのマーシャルアーツはすべて長い歴史を通じて洗練され、国の文化的アイデンティティの一部として長い期間大切に受け継がれてきたという点も、それぞれに共通しています。

このように、空手、カポエイラ、テコンドーは、その形や技、発展の経緯は異なっても、人間的成長を目指すという理想や文化的な価値という面で共通している点もあります。それぞれのマーシャルアーツが持つオリジナリティを尊重しながらも、その根底にある共通の精神を理解することで、異なる文化への理解も深まっていくことでしょう。こうした**多様性**と**普遍性**の二つの**側面**がマーシャルアーツの魅力であり、世界中の人々を魅了し続ける理由となっているのです。

(この教材のために書き下ろし)

ステップ2: 下のリーディングポイントを読みましょう。

そしてペアやグループで、声に出しながら本文を丸読みしましょう。

リーディングポイント

1. 本文のメインアイデアは何だと思いますか。それが表されている大切なことは文に線を引きましょう。
2. 本文で、どんなマーシャルアーツが取り上げられていますか。3つの例を探しましょう。
3. それらの例の説明が書かれているのはどこですか。探して線を引きましょう。

「読みもの」のりかい

ステップ3: 下の【「読みもの」のりかい】の問題を読んでから、もう一度ペアやグループで声に出しながら本文を丸読みしましょう。

本文を読んで内容を理解し、下の問題に答えましょう。

1. 「マーシャルアーツ」という言葉は、どんな言葉に書きかえられていますか。文中から探しましょう。

2. 空手は、何を大切にした武道ですか。

3. カポエイラは、どんな武術ですか。

4. テコンドーが見ている人を魅了するのは、どうしてですか。

5. 空手、カポエイラ、テコンドーの共通点を3つ書きましょう。

(1)

(2)

(3)

6. 筆者は、マーシャルアーツの魅力は何だと書いていますか。

「読みもの」ことば

ステップ4: 下の【「読みもの」ことば】のことばの読み方と意味を、何も見ないで書いてみましょう。
意味がわからないことばは、本文から意味を予想してみましょう。

ことば	読み方	意味(英語・中国語でもよい)
固有		inherent - 固有的
表す		express - 表达
異なる		
発展		
興味		interest - 兴趣
特徴		characteristic - 特征
共通		common - 共同的
性格		personality - 性格
基本		basic - 基本的
磨く	みがく	polish - 磨练
派手	はで	showy - 华丽的
観客		audience - 观众
魅了	みりょう	captivate - 迷住
競技		competition - 竞赛
採用		adopt - 采用
仕方		
一見		at first glance - 乍看之下
単なる		mere - 仅仅的
習得		
精神	せいしん	spirit - 精神

ことば	読み方	意味(英語・中国語でもよい)
成長		
目指す		aim - 以为目标
調和		harmony - 和谐
集中力		concentration - 专注力
向上		
面		aspect - 方面
不可欠		essential - 不可或缺的
伝統		
敬意		
表現		
指導		instruction - 指导
相手		partner - 对手
動作		movement - 动作
洗練	せんれん	refined - 洗练的
期間		
受け継ぐ	うけつぐ	inherit - 继承
経緯		
理想		
尊重		
根底	こんてい	
理解		
多様性		
普遍性	ふへんせい	
側面		

ステップ5:文の意味が成り立つように、□の中から適切なことばを1つ選んで書きましょう。

発展 特徴 習得

1. パンダの()は、白と黒の体です。
2. 日本は、自動車産業のおかげで国が()した。
3. 自転車の乗り方を()すると、生活がしやすくなる。

向上 伝統 多様性

1. この学校には色々な国籍の生徒がいて()がある。
2. お正月におせち料理を食べるのは、日本の()です。
3. 英語の成績を()させるため、毎日勉強した。

表現 敬意 成長 側面

1. 絵や音楽は、自分の気持ちを()する方法だ。
2. 庭に植えた木が、大きく()した。
3. この問題は、さまざまな()から取り組む必要がある。
4. お年寄りには、()をもって接した方がいい。

ステップ6:できるだけ<ふりがななし>のテキストを使って、ペアやグループで読んでみましょう。
読み終わったら、もう一度ことばの表をうめてみましょう。辞書を使ってもいいです。

「世界のマーシャルアーツ」

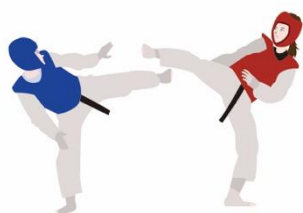
<ふりがな あり>

世界には、いろいろなマーシャルアーツがあり、それぞれが固有の歴史や文化を表しています。日本の空手、ブラジルのカポエイラ、韓国のテコンドーは、異なる国で発展した有名な武道・武術で、世界中で多くの人に愛されています。これらのマーシャルアーツは、生まれた場所や技が違っても、似ているところもあって興味深いです。それぞれの特徴を見ながら、共通点を探ってみましょう。



空手は、沖縄で生まれた日本の武道です。「空手に先手なし」という言葉があるように、まず自分を守ることを大切にしています。手で突いたり、足で蹴ったりする技が中心で、正確に技を出すことが重要です。「型」という決まった動きを何度も練習して、基本の技を磨きます。

カポエイラは、ブラジルで発展した独特の武術です。音楽とダンスの要素を取り入れた格闘技で、アクロバティックな動きや回転技が特徴です。「ジンガ」という体を揺らす基本の動きから、様々な技につなげていきます。参加者が輪になって音楽を演奏し、歌いながら、二人が円形の競技場の真ん中で技を見せ合います。



テコンドーは韓国の国技として知られる武道です。「跆拳道」と漢字で書き、足・拳・道という意味があります。その名の通り、キックを中心とした技が特徴的で、特に高く、速い回転蹴りは世界的に有名です。その派手で華麗な蹴り技で観客を魅了し、競技としての人気も高く、オリンピック競技にも採用されています。

これら三つのマーシャルアーツは、^{わざ}技や^{きやうぎ}競技の^{しかた}仕方、^{れきし}歴史などが^{こと}異なり、^{いっけんぜんぜんべつ}一見全然別のスポーツに見えますが、^{きやうつうてん}共通点もいくつかあります。その一つが、^{たん}単なる^{ぎじゆつ}技術の^{しゅうとく}習得だけでなく、^{せいしんてき}精神的な^{せいちやう}成長も^{めざ}目指している点です。「^{てん}心^{しんぎたい}技^{ちやうわ}体」の^{じぶん}自分^{じしん}自身を^{しゅうちゅうりよく}コントロールする力、^{こうじやう}集^{せいしんめん}中^{ふかけつ}力の^{しゅうちゅうりよく}向上といった^{でんとう}精神面での^{けいい}トレーニング^{ひやうげん}が不可欠とされています。また、それぞれの^{でんとう}伝統における「^{けいい}敬意」を^{ひやうげん}表現しようとしており、^{しどうしゃ}指導者や^{あいて}相手に対する^{たい}敬意を^{けいい}表^{あらわ}す^{どうさ}動作がそれぞれに^く組み込まれています。さらに、これらのマーシャルアーツはすべて長い^{れきし}歴史を通じて^{つう}洗練され、^{せんれん}国の^{ぶんかてき}文化的アイデンティティの一部として長い^{いちぶ}期間^{きかんたいせつ}大切に^う受け継^つがれてきたという点も、それぞれに^{てん}共通しています。

このように、^{わざ}空手、^{はってん}カポエイラ、^{けいい}テコンドーは、その^{こと}形や^{わざ}技、^{はってん}発展の^{けいい}経緯は異なっても、^{にんげんてきせいちやう}人間的^{めざ}成長を目指すという^{りさう}理想や^{かち}文化的な^{めん}価値という面でも^{きやうつう}共通している点もあります。それぞれのマーシャルアーツが^も持つ^{そんちやう}オリジナリティを^{こんてい}尊重しながらも、その^{きやうつう}根底にある^{せいしん}共通の^{りかい}精神を理解することで、^{こと}異なる^{ふか}文化への^{ふか}理解も深まっていくことでしょう。こうした^{たようせい}多様性と^{ふへんせい}普遍性の二つの^{そくめん}側面が、マーシャルアーツの^{みりよく}魅力であり、世界中の人々を^{みりよく}魅了し^{りゆう}続ける理由となっているのです。

'Martial Arts Around the World'

There are many different martial arts in the world, each representing a unique history and culture. Japanese karate, Brazilian capoeira and Korean taekwondo are well-known martial arts and martial arts that developed in different countries and are loved by many people around the world. It is interesting to note that even though these martial arts were born in different places and have different techniques, they are similar in some ways. Let's look at the characteristics of each and find out what they have in common.

Karate is a Japanese martial art that originated in Okinawa. As the saying goes, 'No first move in karate', the emphasis is on defending oneself first. The main techniques are hand thrusts and foot kicks, and it is important to perform the techniques accurately. The basic techniques are honed by practising a set of moves called kata over and over again.

Capoeira is a unique martial art that developed in Brazil. It is a martial art that incorporates elements of music and dance and is characterised by acrobatic movements and rotational techniques. The basic movements of the 'jinga' (body shaking) lead to a variety of techniques. Participants form a circle, music is played and sung while two people show each other their skills in the middle of a circular arena.

Taekwondo is a martial art known as the national sport of Korea. It is written in the Chinese characters Tae Kwon Do, which means foot, fist and way. As the name suggests, it is characterised by its kicking techniques, especially its high and fast spinning kicks, which are world-renowned. The spectators are attracted by the flamboyant and spectacular kicking techniques, and the sport is also very popular as a competition and has been adopted as an Olympic sport.

These three martial arts differ in technique, style of competition and history, and at first glance appear to be completely different sports, but they do have a few things in common. One of these is that they aim not only at the acquisition of skills, but also at spiritual development. Mental training is considered essential, as is the harmonisation of 'mind, technique and body's, the ability to control oneself and to improve concentration. They also seek to express the 'respect' of their respective traditions and incorporate movements that show respect for the instructor and the opponent. Furthermore, all of these martial arts have been refined through a long history and have been carefully passed down over a long period of time as part of a country's cultural identity.

Thus, although karate, capoeira and taekwondo may differ in form, technique and development, they also share some similarities in terms of ideals and cultural values aimed at human development. While respecting the originality of each martial art, understanding the common spirit that underlies it will deepen our understanding of different cultures. This duality of diversity and universality is what makes martial arts so appealing and why they continue to attract people from all over the world.

「読みもの」要旨を書く

メインアイデアを「マーシャルアーツは生まれた場所や技が違ってても共通点がある。」として、本文に書かれている例を使って、パラグラフライティングしましょう。

中心文	マーシャルアーツは生まれた場所や技が違ってても共通点がある。	メインアイデア Statement
サポート文	例)「たとえば、——だ。」	要素1 Component
	例)「ほかにも、——もある。」	要素2 Component
まとめ文	(メインアイデアを他のことばで言い換える) (自分のコメント)	メインアイデア Restatement

スピーチ

次のモデル文を^{さんこう}参考にして、自分の^{きょうみ}興味のあるマッシュアルアーツを一つ^{えら}選び、それを^{しょうかい}紹介するスピーチをしましょう。

ステップ1:まず先生がスピーチをします。スクリプトを目で追いながら聞きましょう。
そして、なぎなたについて、どんなことが書かれているかを考えましょう。

<スピーチスクリプト>

これから、日本の^{でんとうてき}伝統的な武道の
一つである「なぎなた」の^{れきし}歴史と^{わざ}技
について^{しょうかい}紹介します。



まずは、歴史について^{せつめい}説明します。なぎなたが初めて使われるようになったのは、^{へいあん}平安時代です。^{せんじょう}戦場で^{てき}たくさんの敵を相手にしたり、^{へいし}馬の上の兵士を^{たお}倒したりする時に、その^{いりよく}威力を^{はつき}発揮しました。16世紀に、日本に^{てっぽう}鉄砲が伝わってからは、戦場でなぎなたは使われなくなりました。その代わりに、^か医者や女性や子供など、^{ぶき}力の弱い人のための武器となったようです。

次に、技について説明します。なぎなたは、2メートルくらいの長さの、^{ふつう}普通の刀よりも幅が広い木刀^{はば}を使います。その木刀^{ぼくとう}を使って、相手の^{ぼくとう}胴体や^{どうたい}すねを^めめがけて突く「^つ打突^{だつ}」や、相手の^{こうげき}攻撃を^{たたか}かわす「^{たたか}受け」などの技で^{たたか}戦います。

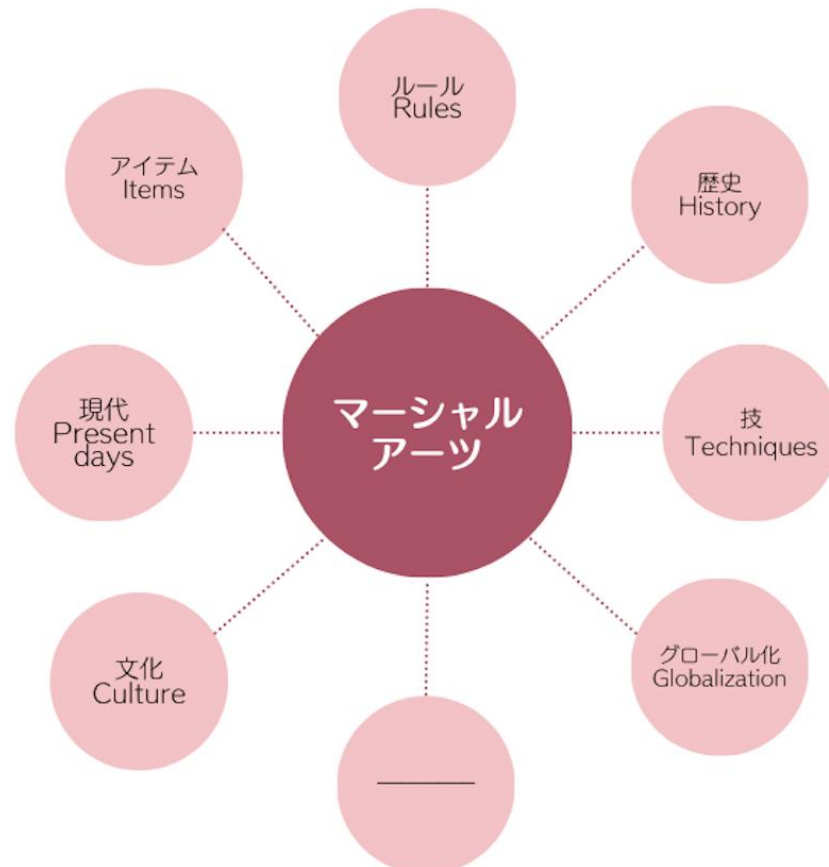
このように、なぎなたには、長い歴史と力強い技があります。現在、日本では、なぎなたは女性の^{ごしんじゅつ}護身術として親しまれています。練習を通して^{しせい}姿勢がよくなったり、日本の伝統が^{れいぎ}学べて^{せいちょう}礼儀が身につくからです。みなさんも、^{ため}体と心の成長のために、なぎなたを試してみたいはいかがでしょうか。

ステップ2: ペアやグループで丸読みしましょう。

意味がわからないことばがあったら、線を引いておいて、音読の後で辞書で調べましょう。

ステップ3: 本文は、なぎなたのどんな点について書かれていましたか。

それぞれのパラグラフに何が書かれているか、ペアやグループで話し合いましょう。



ステップ4: 自分の選んだマーシャルアーツのスピーチを考えます。上のマップを参考にして、何を書くかを決めましょう。観点は自分で考えてもいいです。とくいな言語で書いてもいいです。2~3つ観点をしぼったら、インターネットや本を使って情報を探して、マップに書きましょう。

ステップ5: ノートにスピーチのスクリプトを書きましょう。書き終わったら次のページのチェック表で、自分のスクリプトを評価しましょう。

スクリプトチェック表

I 文章の構成 ^{こうせい}	○△
(1) メインアイデアが最初のパラグラフに書かれてあるか。	
(2) メインアイデアについてくわしく説明したり理由を述べたりする文があるか。	
(3) メインアイデアが最後のパラグラフで言いかえられているか。	
(4) それぞれのパラグラフに、アイデア(トピック)が1つだけにしぼられているか。	
II ことばづかいについて	○△
(5) 聞いている人を意識 ^{いしき} したことばづかいになっているか。	
(6) 句読点(、。)がきちんと使えているか。	
III 表現について	○△
(7) 意味がわかりにくい文はないか。	
(8) つなぎことばをきちんと使えているか。	
(9) 同じことばをくり返さずに、ちがうことばで言い表しているか。	

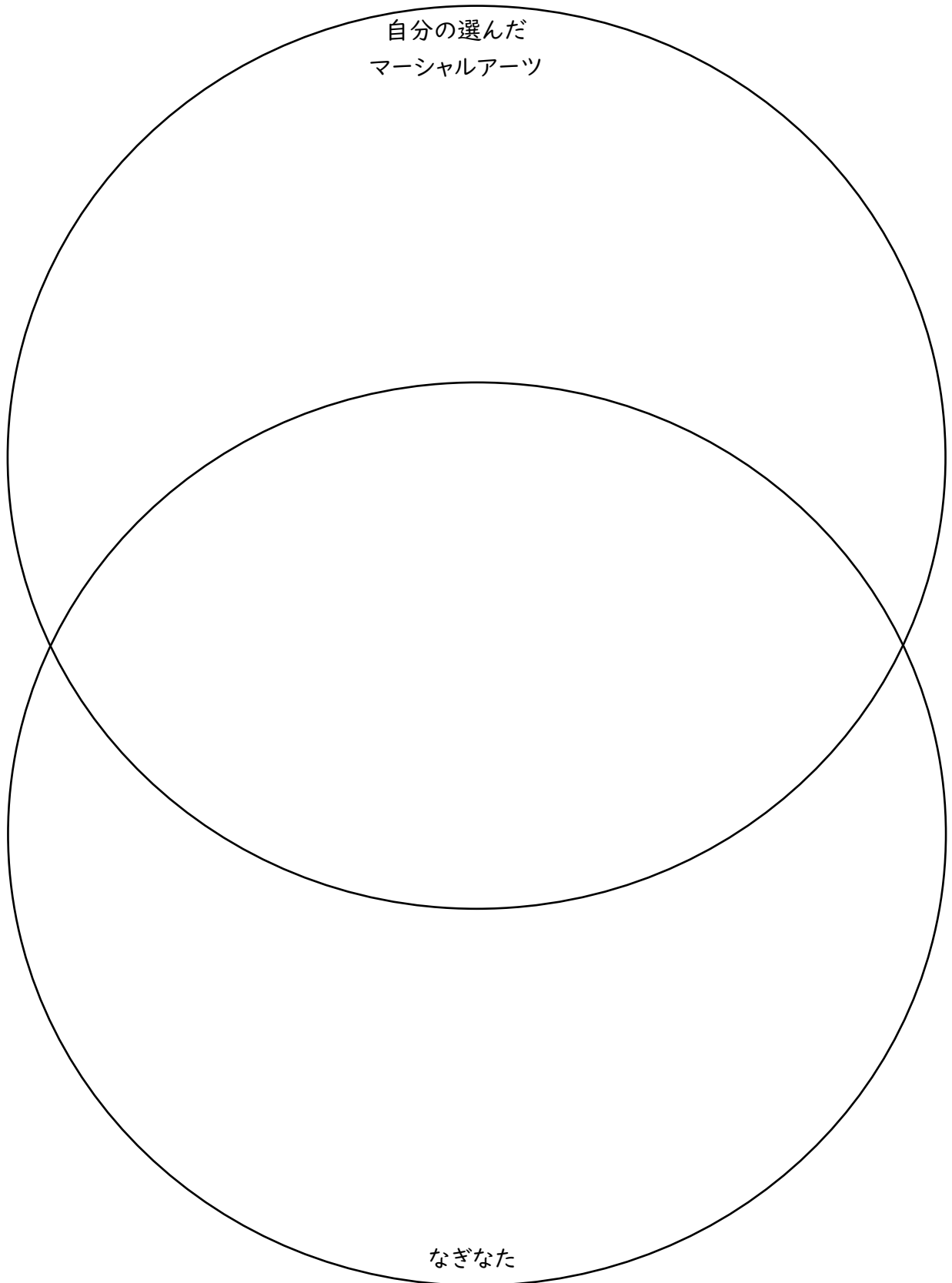
ステップ6:できるだけスクリプト見ずに、グループごとにスピーチしましょう。
グループの人に、下の表を使って自分のスピーチを評価してもらいましょう。

スピーチ評価表

	4 よくできている	3 できている	2 もう少し	1 がんばろう
内容の おもしろさ	新しい情報が多くて、 きょうみ深い	おもしろい内容	少しわかりづらい 内容	何を話したいのか よくわからない
声の大きさ	ちょうどよくて 聞きやすい	少し小さい／大きい ところもあるが だいたい聞こえる	小さすぎたり、大き すぎたりして、聞きとりに くいところがある	声が小さくて(または 大きすぎて)ほとんど 聞き取れない
話す スピード	おちついていて 聞きやすい速さ	少し早かったり遅か ったりするが、 内容はわかる	早すぎたり遅すぎたり して、内容が わかりにくい	早すぎて／遅すぎて 何を言っているか わからない
日本語の わかりやすさ	ことばえらびがよく、 内容がよく伝わる	すこし難しいことばも あるが、内容は だいたい伝わる	ことばの使い方が 少しわかりにくく、 内容が伝わりにくい	文やことばの使い方 があまり正しくなく、 内容が よくわからない
構成	話のながれがよく、 内容がよくわかる	話のながれはある が、少しわかりにくい ところがある	構成が少し分りに くく、何を言いた いか、わかりにくい	構成がよくなくて、 内容が よくわからない

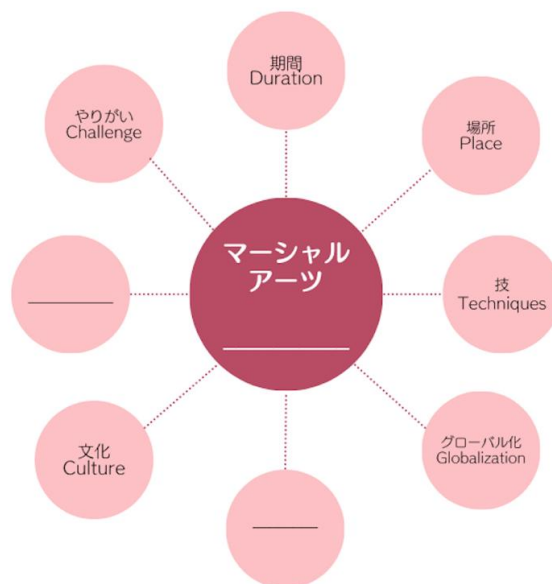
<考えてみよう>

自分の選んだマーシャルアーツと、なぎなたの共通点（似ている点）と
相違点（異なる点）を整理して、下の図に書いてみましょう。



インタビュー活動

ステップ1:あなたの国や地域で活動しているマーシャルアーツの指導者にインタビューをします。
 どんなことを質問してみたいですか。
 いろいろな観点から質問をグループで考えましょう。
 グループで話し合うときは、得意な言語を使ってもいいです。



観点	質問	回答
例) 文化	例) どうして太極拳を外国人に教えるのか。	例) ・新しい人と出会えるから ・太極拳が健康にいいことを伝えたいから。

ステップ2:インタビューして学んだことを一つ選び、パラグラフライティングしましょう。

観点例:文化「どうして太極拳を外国人にも教えるのか。」

香港に住んでいるゴードン・チャン氏は、太極拳が健康にいいことを外国人にも知ってもらうために、英語で太極拳のレッスンをしています。太極拳は、ゆっくりとした動きで、呼吸を意識しながら行うので、筋肉がつき、姿勢もよくなります。「昔から受けつがれてきた、この健康的な運動を世界に広め、より多くの人に親しんでもらいたい」と、チャン氏は願っています。

ステップ3: 自分の文章をチェック表で見直しましょう。

I 文章の構成	○△ 自分	○△ 他の人
(1)序論 ^{じょろん} に中心文(メインアイデア)があるか。		
(2)本論 ^{ほんろん} にメインアイデアについてくわしく説明したり理由を述べたりする文があるか。		
(3)結論 ^{けつろん} に、中心文を言いかえた文があるか。		
(4)結論 ^{けつろん} に、本論 ^{ほんろん} をまとめた文があるか。		
(5)それぞれのパラグラフに、アイデア(トピック)が1つだけにしぼられているか。		
II ことばづかいについて	○△	○△
(6)読んでいる人を意識 ^{いしき} したことばづかいになっているか。		
(7)句読点(、。)がきちんと使えているか。		
III 表現について	○△	○△
(8)意味がわかりにくい文はないか。		
(9)つなぎことばをきちんと使えているか。		
(10)同じことばをくり返さずに、ちがうことばで言い表しているか。		

ステップ4: 自分の文章を人に読んでもらい、上の表を使って文章を評価してもらいましょう。
よかったところについても、一言コメントも、もらいましょう。

ふりかえり

*とくいな言語で書いてもいいです。

❖ 2ページの「L」のところに、これまでの学習を通して学んだことを書きましょう。

❖ 学習をふりかえりましょう。

1. 「マーシャルアーツ」というテーマはどうでしたか。

とてもおもしろかった おもしろかった まあまあ あまりおもしろくなかった

*おもしろいと思ったことや、おもしろくないと思ったことを具体的に書こう。

2. 世界の異なるマーシャルアーツの文化的背景や特徴を学習していく中で、どんなことを理解しましたか。(複数回答可)

- ☐ それぞれの国の歴史がマーシャルアーツの発展に関係している
- ☐ 体の動かし方や技に、その国の文化が表れている
- ☐ マーシャルアーツは、技だけでなく心の成長を大切にしている
- ☐ マーシャルアーツでは、礼儀作法を学ぶ必要がある
- ☐ 伝統を守りながら、新しく変化もしている
- ☐ その他_____

3. 選んだ「マーシャルアーツ」の特徴や、他のものとの似ている点・ちがう点を、上手に説明できましたか。

とてもできた 少しできた まあまあ ぜんぜんできなかった

*うまくいった点やいかなかった点を書きましょう。

4. パラグラフを書くときに、構成を考えて書けましたか。

とてもできた 少しできた まあまあ ぜんぜんできなかった

*うまくいった点やいかなかった点を書きましょう。

テキストを読む方法

「読みもの」をざっと見て 大まかな意味がわかりそうなら	「読みもの」をざっと見て わからないことば多そうなら
【1回目】大まかな意味をとらえる 先生が「読みもの」を読むのを聞きながら、読めない漢字や、意味がわからないことばに線を引こう。 ↓ 線を引いたことばを辞書で調べよう。 【2回目】文章の構成を考えながら読む リーディングポイントを読もう。 ↓ 「読みもの」を声に出して読もう。 (ふりがながある方を読んでもよい。) ↓ リーディングポイントを話し合おう。 【3回目】細かく情報を読みとる 「りかい」の問いを先に読もう。 ↓ 「読みもの」を読もう。 (できるだけふりがながない方を読もう。) ↓ 「りかい」の問いをとこう。 【4回目】ことばの意味や使い方を確認しながら読む 最初は「ことば」のページを何も見ないで書き込む。 わからなかったところは辞書で調べよう。 ↓ 「読みもの」を声に出して読む。 (できるだけふりがながない方を読もう。) ↓ 練習問題でことばの読み方、意味、使い方を勉強しよう。 【5回目】読みとった情報を整理して書く メインアイデアを探しながら「読みもの」を読もう。 できるだけふりがながない方を読もう。 ↓ 要旨を書こう。	【1回目】大まかな意味をとらえる リーディングポイントを読もう。 ↓ 先生が「読みもの」(ふりがなあり)を読むのを聞きながら、読めない漢字や、意味がわからないことばに線を引こう。 ↓ 英語の文を読んで、内容を理解しよう。 【2回目】文章の構成を考えながら読む リーディングポイントを読もう。 ↓ 「読みもの」を声に出して読もう。 (ふりがながある方を読んでもよい。) ↓ リーディングポイントを話し合おう。 【3回目】細かく情報を読みとる 「りかい」の問いを先に読もう。 ↓ 「読みもの」を声に出して読もう。 ↓ 「りかい」の問題をとこう。 【4回目】ことばの意味や使い方を確認しながら読む 「読みもの」を声に出して読もう。 (ふりがながない方を読んでもよい。) ↓ 「ことば」のページを辞書を引きながら書きこもう。 ↓ 練習問題でことばの読み方、意味、使い方を勉強しよう。 【5回目】読みとった情報を整理して書く メインアイデアを探しながら「読みもの」を読もう。 できるだけふりがながない方を読もう。 ↓ 要旨を書こう。

【イラスト】

p.1 畠中美幸
p.3, p.9 イラスト AC